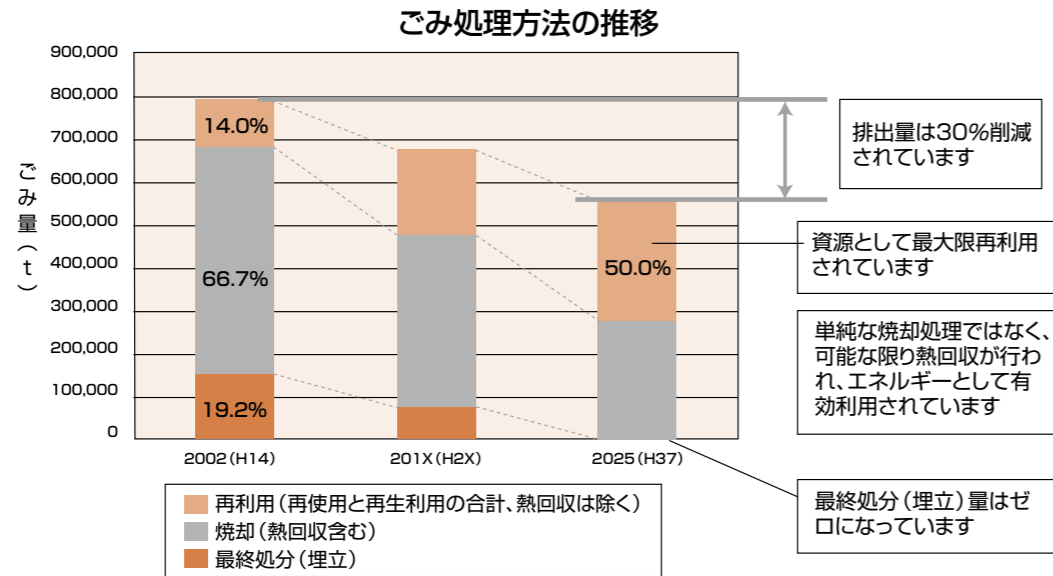


連載 「ごみゼロ社会」の実現に向かって!

20年後のごみ処理の姿

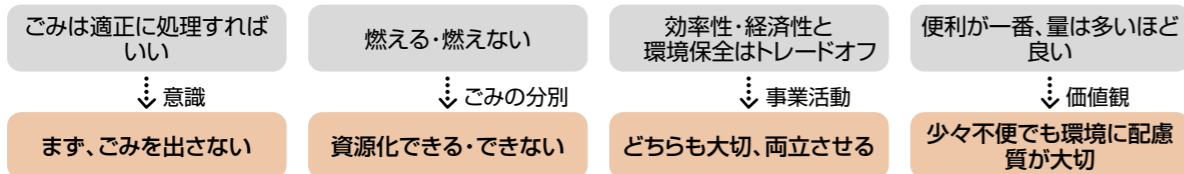
目標年度において、ごみは次のように処理されています。



ごみゼロ社会実現のためのポイントは?

①意識・価値観・行動の転換

これまで以上にごみを減らすためには、ライフスタイルや事業活動を変えることが必要。例えば、「スローなライフスタイル(手間暇をかけること、良い物を大切に使うことに価値を見出す生活様式)」を実践するなど。



②取り組みに関する優先順位の明確化



大切なことは、まずごみを出さないこと、そして、ごみを“未利用資源”と考えてできるだけ有効に利用すること。

③多様な主体の役割分担の再構築と連携・協働

ごみを出さない人はいない。ごみゼロ社会は、みんながお互いに協力しあいながら、それぞれの役割を果たしてこそ実現。

まずは「ごみが発生しないよう」にすることが大切です

④ごみを資源ととらえた地域づくりの展開

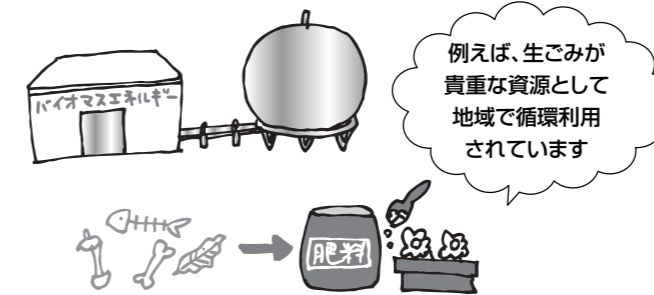
ごみを減らす取り組みは、それぞれの地域でよく話し合って良い方法を考え、自らの責任で実行することが基本。ごみを資源と考えれば、地域のいろいろな課題の解決にもつながるかも。知恵を出し合って創意工夫すること。



20年後のごみゼロ社会って?

ごみゼロ社会実現に向けて各主体の取り組みが十分なされることを前提として、“ごみゼロプランの目指す地域社会の姿”をイメージし描いてみました。

循環を基調としたライフスタイルが定着し、自然と共生する暮らしが営まれています。



環境への配慮を最優先するライフスタイルが定着し、ゆとりある質の高い暮らしが営まれています。



「もったいない」という気持ち、環境へのこだわりが、暮らしの中での満足感、充実感につながっています。



子どもたちの健全な成長に好ましい環境が広がり、子どもたちの豊かな感受性や創造性が育まれています。



モノの生産や流通・販売等の活動により、徹底して環境に配慮したシステムが採用されています。



例えば、製品を使った後、再使用・再生利用しやすいように設計や素材に工夫がなされ、消費者への情報提供も充実しています

「機能をモノとして販売する」のではなく、「機能そのものを販売する」サービスが発展しています。

例えば、様々な製品のレンタル、修理などのサービスがどこでも受けられます
イベントや集客施設では、リユース容器が主流です



問い合わせ先……北勢庁舎 生活環境課 ☎72-3946 FAX72-3748